



人々が手をつないだ姿をイメージし幼稚園児の絵を取り付けた学園橋



水辺は子供たちの学習や遊びの場に



宇宙をイメージし橋面に四季の星座をはめこんだ銀河橋

DATA・BOARD 28

- ① 島根県仁多郡横田町大字大馬木
- ② 延長：206.2m
- ③ JR木次線八川駅からバスで10分、中国縦貫自動車道 東城ICから車で約60分
- ④ 絲原記念館、横田町郷土資料館、奥出雲たたらと刀剣館、奥出雲おろちループ、食の文化館ビオニ、国定公園吾妻山ほか
- ⑤ 親子ふれあい活動、町民体育大会、盆踊り大会、ヤマメ・鯉のつかみどり大会



28 せせらぎの里 砂田川 すなだ がわ



砂田川は、矢筈山を源に斐伊川水系の馬木川にそそぐ小川で、砂防対策が必要になっており、合わせて河川環境の整備事業が望まれていた。

砂田川の特徴のひとつに横田町の馬木小学校・馬木幼稚園の敷地内を流れていることがあげられる。その改築と関連して行われたのが「せせらぎの里 砂田川」の整備で、子供たちが自然とふれあい、思い出の場所となるような環境づくりをめざしたものである。

整備にあたっては、小学校、幼稚園、PTA、地域住民などで構成する検討委員会が設置されたほか、児童からの要望を募集した。

流路には、水辺の教室としての利用を考えたせせらぎの水辺、生物の観察が楽しめる生き物の水辺、水遊びや砂遊びができるジャブジャブの池が設けられている。兩岸を結ぶ三つの橋は子供たちがデザインし、高欄には子供たちの描いた絵が取り付けられている。

また、四季の変化がわかるように草花や水草を植栽したり、横田町ガラス工芸館で製作したビー玉を素材に取り入れるなどの特色を出している。

整備後は、学習の場としてだけでなく、地域のイベント会場や憩いの場として幅広い世代に親しまれる水辺になった。